



東北大学 生態適応グローバル COE 『環境機関コンソーシアム』参加のご案内

東北大学 生態適応グローバル COE
『環境機関コンソーシアム』会長
市田 則孝

1. 設立の目的

東北大学大学院生命科学研究科「生態適応グローバル COE (GCOE)」では、生物システムや生態系が本来持つ適応力をいかした生態系管理を実現するための融合的新領域を「生態系適応科学」と呼び、その確立および普及を目指しています。生態適応力を活かした保全管理を進めるためには、研究機関、企業、自治体、NGO など、立場の異なる主体が連携し、情報共有のためのプラットフォーム作り、人材育成、共同研究などを実践することが必要と考え、『環境機関コンソーシアム』を設立いたしました。研究成果の実践、社会への還元を目的とするこの創設趣旨をご理解賜り、何卒、『環境機関コンソーシアム』へご参画くださいますようお願い申し上げます。

2. 活動内容

■情報共有

- ・生物多様性、生態適応に関する情報交換と共有化
- ・国際機関・外部団体との情報交換

■実践活動

- ・企業や自治体との保全連携プログラムの推進
- ・保全活動の進捗を図る生態系評価指標作り
- ・大学からの研究成果発信と政策提言

■人材交流・育成

- ・先端研究者・PEM (Professional Ecosystem Manager) 人材の育成
- ・社会人大学院生や留学生の受け入れ、育成強化
- ・大学院生のインターンシップなどによる教育連携
- ・環境教育に関する教材制作・提供

3. 活動の成果

ご参加いただく企業、NGO、自治体にとっての成果は、情報交換、人材交流はもとより、参加メンバーとの協議により賛同を得ることができれば、環境問題が発生している現地に生態適応 GCOE に参画する研究者が出向き、実践的な指導とノウハウの提供が受けられることです。

また、このような活動を環境機関コンソーシアムの情報プラットフォームに蓄積してデータベース化していき、保全活動の進捗を図る生態系評価指標作りなどに役立てることもできます。

生態系科学研究と人材育成への貢献を支える組織として、生態適応 GCOE の『環境機関コンソーシアム』は「ともに動いて実践する」活動で成果をあげることを目指します。

4. 運営方法・会費など

『環境機関コンソーシアム』の運営は当面、事務局が参加メンバーの意向、提案を伺いながら行うものとします。初年度は方向性を検討し、プロジェクトごとに希望者を募り、事業の企画運営を行います。

■会費は無料です。交通費など参加に関わる実費のみご負担ください。

■参加メンバーのうち希望者は PEM (Professional Ecosystem Manager) 育成プログラムの講義を聴講することができます。(国際インターンシップ・国際フィールド実習は除きます。人数に限りのあるクラスへの参加はご遠慮いただくことがあります。お問い合わせください)

5. 参加申し込み方法

『環境機関コンソーシアム』に参加希望される組織は別紙の登録申請用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局へお送りください。ご記入いただいた内容は原則として参加メンバーに限り、公表させていただきます。

(参考)

「環境機関コンソーシアム」発起人 (敬称略)

国際環境 NGO バードライフ・インターナショナル

副会長 市田 則孝 (代表)

株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹

NPO 法人 アサザ基金 代表理事 飯島 博

サラヤ株式会社 代表取締役社長 更家 悠介

三井住友海上火災保険株式会社 取締役会長 秦 喜秋

国際 NGO ナチュラル・ステップ・ジャパン 代表 高見 幸子

株式会社リコー 理事/社会環境本部本部長 谷 達雄

株式会社インターリスク総研 主任研究員 原口 真

株式会社一ノ蔵 代表取締役社長 松本 善文

国際自然保護連合日本委員会会長 吉田 正人

(50音順)

お問合せ先

東北大学大学院 生命科学研究科

生態適応グローバル COE 支援室

〒980-8578

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

Tel: 022-795-3637 Fax:022-795-3638

(東京連絡所)

株式会社レスポンスアビリティ

〒141-0021

品川区上大崎 1-1-4 ミルーム白金 402

Tel: 03-6303-9799 Fax: 03-6303-9798